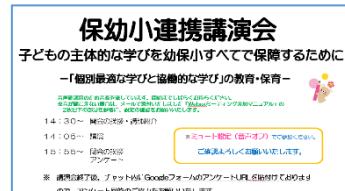
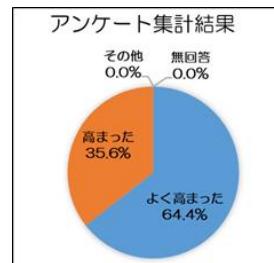


令和6年度 保幼小連携講座 保幼小連携講演会

目的	乳幼児教育・保育施設長と職員、小学校及び義務教育学校長と教職員が互いの垣根を越え、保幼小連携を理論的な面から学び、連携の必要性を理解し、保幼小連携の推進を図る
日 時	令和6年8月30日（金）14：30～16：00
対 象	乳幼児教育・保育施設職員・小学校及び義務教育学校職員
演 題	子どもの主体的な学びを幼保小すべてで保障するために —「個別最適な学びと協働的な学び」の教育・保育—
内 容	講演（オンラインにて開催）
講 師	玉川大学 教授 大豆生田 啓友 氏

参加者（合計 174 名）				
保育所	幼稚園	認定こども園	小学校	その他
53	14	74	23	10



【感想】

- 今後の連携についてヒントをたくさんいただきました。
- 入学式の挨拶ももう少し考えます。
- どこまでできるかはわかりませんが、年長時までにせっかく伸びた力を小学校の職員が見落としてしまうことのないように、見る目を大切にしないとなと思いました。
- 愛着は親以外でもという話も印象的で、親に対して求めること多かったので、園でできることをしていきたいです。
- 保育の現場だけでなく小学校でも子ども主体を大切にしながら様々な工夫がなされていることを知り、改めて幼児期の経験が将来につながっていくことがわかりました。
- 自分が大切にされている子どもは友達も大切にできる、という言葉が印象に残りました。
- 現場の先生たちが今日のような子どもに関する事例を持ち寄ってお互いを知る時間を作っていくことが1歩目のように思いました。
- すべてのこどもたちが幸せの経験を持てるような well being な園となれるよう、保護者と共に大きな輪を作りたいと感じました。